

第1回 異種材料接合技術研究会 (全3回)

主催：(公財)科学技術交流財団 協力：愛知工研協会

昨今、異種材料の接合技術は自動車や電子、電機分野で積極的に利用されており、企業の方々の関心が高まっています。従来では困難とされた異種材料の接合技術の革新は目覚ましいものがあり、新たな材料を組み合わせることで、製品の軽量化や機能・性能の向上、コスト削減に寄与するものと期待されています。

こうしたことから、当財団では企業の方々の新事業創出、新商品開発などに役立ていただくことを目的とし、異種材料接合の最新の状況について、専門家を招聘してご講演いただく研究会を昨年度に続き3回にわたり開催することとしました。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

《第1回》

日時：平成28年10月31日(月)

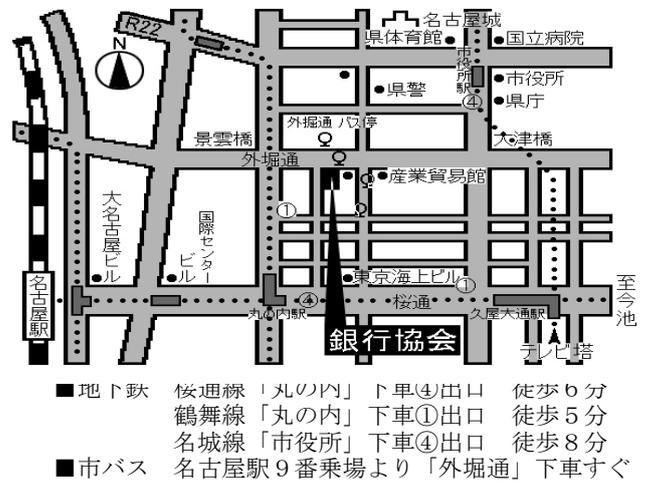
13:30~16:50

場所：名古屋銀行協会 2階 201会議室

名古屋市中区丸の内2-4-2

TEL 052-231-7851

定員：80名(定員に達し次第締め切ります)



《プログラム》

13:30~13:40 主催者挨拶

13:40~14:50 「摩擦接合技術の最近の動向と今後の可能性」

講師 大阪大学接合科学研究所 教授 藤井 英俊 氏

材料を溶かさず、固体の状態で接合できる摩擦攪拌接合は、種々のさらなる発展の可能性を秘めた新規接合法です。本報では、今後の課題となると予測される構造体の軽量化と形状の複雑化に対応するための、最近の摩擦攪拌接合の動向とさらなる可能性について論じます。

14:50~15:10 休憩

15:10~16:20 「ゴムと樹脂を化学的に結合させて作る新しい複合材製造技術「ラジカロック」

講師 株式会社中野製作所 タスクマネジメントグループ

マネージャ 中山 義一 氏

接着剤を使わずにゴムとプラスチックの分子鎖を直接化学結合させる技術であるラジカロックの仕組み、活用方法、実施例をご紹介します。

ラジカロックを用いることで、プラスチックの良さとゴムの良さを併せ持つ新しい複合部品の開発が可能になります。

16:20~16:50 講師との名刺交換(自由参加)

